

汚染布の種類	A ₁	A ₂	A ₃	A ₄
ヨゴレ成分				
CCl ₄	400 g	400 g	400 g	400 g
カーボンブラック	0.16	0.08	0.06	0.20
牛 脂	0	0.2	0.2	0.2
流動パラフィン	0	0.8	0.8	0
ステアリン酸カルシウム	0	0	0.1	0
脱水ラノリン	0	0	0	0.8

洗剤種類	D ₁	D ₂
配合比		
Na-ABS	28	27
トリポリリン酸ソーダ	0	26
無水硫酸ソーダ	72	47

成後，7～30日のものは安定，A₄は不安定。

B-8 ステアリン酸カルシウム共存人工汚染布の性能

県立新潟女短大 多田 千代
○佐藤 ミワ

1. ヨゴレの脱落が天然ヨゴレのそれと平行関係にあり，かつ，操作が簡単で再現性のよい人工汚染布作成のための基礎研究の一つである。カーボンブラックにも油にもよくなじむステアリン酸カルシウムに着目し，これを従来の四塩化炭素分散媒人工汚染浴に混入して得られた汚染布性能を他と比較した。

2. 汚染布の調製，洗浄力試験，洗浄効率の算出は油化学協会法によった。すなわち，標準綿布を用い，バット汚染，洗浄は島津ラウンダーテスターで30分（水道水使用）。

3. 汚染性：A₃は，高温時には凝集しやすい。低温時に攪拌に注意すれば均一な汚染布が得られる。洗浄効率：A₁はD₁>D₂ A₂はD₁~D₂，A₃とA₄は，D₁<D₂（40℃，0.3%），洗浄性の経日変化：A₃は汚染布作